



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ダイオーズ
 コード番号 4653 URL http://www.daiohs.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 稲垣 賢一 TEL 03-3438-5511
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有 (当社ホームページ等)
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	14,424	16.0	768	△2.8	763	3.8	461	△0.7
29年3月期第2四半期	12,431	0.1	790	△10.8	735	△17.2	465	△15.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 491百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △121百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	34.35	—
29年3月期第2四半期	34.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	18,367	12,196	66.4	907.52
29年3月期	16,230	11,973	73.8	890.95

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 12,196百万円 29年3月期 11,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 特別配当 5円00銭

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 9円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,731	6.4	1,994	24.0	1,943	19.9	1,185	14.6	88.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	13,439,142株	29年3月期	13,439,142株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	40株	29年3月期	40株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	13,439,102株	29年3月期2Q	13,439,102株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において当社グループは、以下のような施策を実行しました。

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

① 国内部門

国内部門のダイオースジャパンにおいては、第2期中期計画の最終期である前年度に完成させた「システムをベースとした経営」を今期も継続し、更なる浸透に努めてまいりました。

攻めの部分にあたる新規顧客の獲得件数については、「エリア担当制営業管理システム」の促進に加え、環境衛生関連サービスの商圏拡大効果も相乗した事で、期初の計画を大きく上回りました。一方、守りの部分である既存顧客の契約継続については「既存顧客別管理システム」が効果的に機能し、売上マイナス要因となる解約件数が期初予測値を下回りました。その結果、取扱サービスである、コーヒー、ボトルウォーター、ティーサーバーの飲料関連、ダストコントロール、ダイオースカバーオール(清掃事業)等の環境衛生関連の全てのサービスにおいて契約顧客件数は過去最高を更新しました。

管理面においては、新規獲得件数が期初予測値よりも大幅に上回り、同時に解約件数が期初予測値を下回る実績で推移していることから、契約顧客に提供する為の機器備品等への投資が増加し、期初の計画値を大きく上回るコスト増となりましたが、この事象は当社のビジネスの特徴である継続反復販売ビジネスにおいては契約顧客件数の増加による将来の利益確保を目指した積極的な前向き投資であると捉えており、今後も制御する事なく更なる促進をさせていきたいと考えております。

これらの結果、当第2四半期における国内部門のダイオースジャパンの売上高については、期初の計画を3.1%上回る59億76百万円(前年同四半期比10.4%増)となり、経営指標である10%以上の成長を達成し、7期連続の増収とともに4期連続の過去最高売上更新を達成しました。

利益面においては、契約顧客の増加に伴う機器全般への投資が大きく計画値を上回ったことから「のれん」及び「顧客関連資産」償却後の営業利益は、5億0百万円(前年同四半期比4.8%減)となりました。しかしシステム経営の管理面における中核政策である「拠点運営の合理化」を促進させた結果、実勢を示す「のれん」及び「顧客関連資産」償却前の営業利益は5億57百万円(前年同四半期比2.2%増)となり、4期連続で過去最高を更新しました。第3四半期以降も現状の情勢が継続される傾向にあり、現段階における通期実績予測につきましては期初の計画からの変更は無く、売上高、営業利益、共に過去最高実績を更新する見込みとなっております。

② 米国部門

米国部門の連結子会社Daiohs U.S.A., Inc.においては、米国のマクロ景気は金融緩和による影響もあって堅実な状況が続いております。全米平均失業率も当第2四半期連結累計期間末時点で4.2%と米国では完全雇用とされる水準の5.0%を大きく下回り、リーマンショック直前の2007年5月に記録した4.4%よりも低い数値となりました。全米規模で人手不足の様相が顕著になってきており、マクロ景気状況は良好になっております。

そのような環境下、当社米国部門では2024年3月期までに全米展開の概ね完成と年商2億5千万ドル到達の長期目標を掲げており、当期は従来型のオフィスコーヒーサービス(OCS)事業に加え、拡大版OCS事業のノウハウ取り込みと事業モデル整備に着手いたしました。

その第一歩として、6月にワシントン州シアトル市を本社とするBlue Tiger Coffee Inc.を株式買収し、Daiohs U.S.A. Inc.の子会社といたしました。Blue Tiger社は従来のOCSにプレミアム感を充実させ、スナックやフルーツ、サラダなどの賞味期間が短い商品も幅広く揃えて提供するもので、ハイテクや金融業界を始めとしたホワイトカラー人材の獲得競争が激しい業界では比較的安価な従業員福利厚生として強い需要が見られるものです。当社が行っていた従来型OCSとは共通する部分もあるものの、顧客サービスや運営ノウハウが大きく異なることから、当面は別会社として運営をして行く計画です。

その他の既存拠点でも、モデル売上未到達拠点を中心に営業人員を増強して売上伸長を図った結果、売上高はドルベースでは14.9%増となり、円換算で84億50百万円(前年同四半期比20.3%増)となりました。

一方、利益面では既存のOCS事業が増益となったものの、子会社化したBlue Tiger社の「顧客関連資産」の償却費用の発生から、営業利益は3億25百万円(前年同四半期比0.8%増、ドルベースでは3.7%減)の増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は144億24百万円(前年同四半期比16.0%増)、売上総利益は82億57百万円(前年同四半期比15.5%増)、営業利益は7億68百万円(前年同四半期比2.8%減)、経常利益は7億63百万円(前年同四半期比3.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億61百万円(前年同四半期比0.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は183億67百万円で、前連結会計年度末比21億36百万円増加となりました。

流動資産は80億65百万円で前連結会計年度末比3億23百万円増加となりました。これは主に「現金及び預金」が2億13百万円減少した一方で、「売掛金」が2億7百万円、「商品及び製品」が1億66百万円増加したことによるものです。固定資産は103億1百万円で前連結会計年度末比18億12百万円増加となりました。これは主に「顧客関連資産」が13億52百万円、「工具、器具及び備品」が3億22百万円、「土地」が1億12百万円増加したことによるものです。

負債合計は61億70百万円で、前連結会計年度末比19億13百万円増加となりました。これは主に「短期借入金」が2億49百万円減少した一方で、「長期借入金」が16億88百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が4億56百万円増加したことによるものです。

純資産合計は、121億96百万円で、前連結会計年度末比2億22百万円増加となりました。これは主に「利益剰余金」が1億92百万円、「為替換算調整勘定」が29百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表しました平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,031,528	2,817,595
売掛金	2,780,491	2,988,438
リース投資資産	325,225	330,338
商品及び製品	1,062,755	1,228,938
仕掛品	4,321	5,852
原材料及び貯蔵品	121,190	98,945
繰延税金資産	122,958	187,781
その他	314,893	431,889
貸倒引当金	△21,076	△23,936
流動資産合計	7,742,289	8,065,842
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	379,644	393,707
機械装置及び運搬具(純額)	490,441	583,517
工具、器具及び備品(純額)	2,232,547	2,554,770
レンタル資産(純額)	1,386,275	1,466,550
土地	646,027	758,456
建設仮勘定	38,802	38,080
有形固定資産合計	5,173,739	5,795,083
無形固定資産		
のれん	121,491	83,470
顧客関連資産	2,441,634	3,793,890
その他	53,174	71,935
無形固定資産合計	2,616,300	3,949,296
投資その他の資産		
投資有価証券	212,836	212,008
繰延税金資産	92,085	1,884
その他	412,922	362,507
投資損失引当金	△19,391	△19,391
投資その他の資産合計	698,452	557,008
固定資産合計	8,488,492	10,301,388
資産合計	16,230,782	18,367,231

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	554,070	592,787
短期借入金	1,035,330	785,467
1年内返済予定の長期借入金	242,330	699,113
未払法人税等	142,726	127,067
未払費用	425,388	432,545
賞与引当金	207,180	205,517
その他	813,297	762,485
流動負債合計	3,420,323	3,604,985
固定負債		
長期借入金	540,568	2,229,159
繰延税金負債	60,285	92,943
資産除去債務	36,917	37,272
その他	199,108	206,598
固定負債合計	836,880	2,565,974
負債合計	4,257,203	6,170,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,129,434	1,129,434
利益剰余金	9,454,723	9,647,600
自己株式	△46	△46
株主資本合計	11,635,246	11,828,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,362	6,453
為替換算調整勘定	331,968	361,694
その他の包括利益累計額合計	338,331	368,148
純資産合計	11,973,578	12,196,271
負債純資産合計	16,230,782	18,367,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,431,069	14,424,946
売上原価	5,281,179	6,166,986
売上総利益	7,149,890	8,257,960
販売費及び一般管理費	6,359,718	7,489,836
営業利益	790,171	768,124
営業外収益		
受取利息	1,671	168
受取配当金	783	526
仕入割引	9,508	8,099
持分法による投資利益	—	2,166
為替差益	—	2,117
債務勘定整理益	3,129	8,683
その他	10,140	8,174
営業外収益合計	25,233	29,937
営業外費用		
支払利息	17,044	33,252
持分法による投資損失	16,837	—
為替差損	46,280	—
その他	180	1,619
営業外費用合計	80,343	34,871
経常利益	735,061	763,189
特別利益		
固定資産売却益	6,413	3,483
特別利益合計	6,413	3,483
特別損失		
固定資産売却損	94	—
固定資産除却損	66	6,161
特別損失合計	161	6,161
税金等調整前四半期純利益	741,314	760,511
法人税、住民税及び事業税	284,618	240,946
法人税等調整額	△8,413	57,906
法人税等合計	276,205	298,852
四半期純利益	465,108	461,658
親会社株主に帰属する四半期純利益	465,108	461,658

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	465,108	461,658
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	90
為替換算調整勘定	△579,333	29,979
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,798	△253
その他の包括利益合計	△586,140	29,816
四半期包括利益	△121,031	491,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△121,031	491,475
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	741,314	760,511
減価償却費	912,209	1,084,365
のれん償却額	38,380	38,014
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,741	2,789
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,636	△1,662
受取利息及び受取配当金	△2,969	△1,635
支払利息	17,044	33,252
為替差損益(△は益)	46,286	△2,163
持分法による投資損益(△は益)	16,837	△2,166
固定資産売却損益(△は益)	△6,319	△3,483
固定資産除却損	66	6,161
売上債権の増減額(△は増加)	△56,468	△87,735
たな卸資産の増減額(△は増加)	△32,030	△74,500
リース投資資産の増減額(△は増加)	△387	△5,113
仕入債務の増減額(△は減少)	△20,887	△148,321
未払費用の増減額(△は減少)	△27,957	△10,450
その他	50,527	74,126
小計	1,659,751	1,661,986
利息及び配当金の受取額	2,969	1,635
利息の支払額	△17,429	△23,912
法人税等の支払額	△209,857	△313,067
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,435,434	1,326,641
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△778,367	△1,149,960
有形固定資産の売却による収入	1,315	5,318
無形固定資産の取得による支出	△7,456	△15,007
投資有価証券の取得による支出	△60	△60
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,074,857
貸付金の回収による収入	1,011	—
事業譲受による支出	△339,324	△489,627
事業譲渡による収入	12,892	—
その他	△1,191	2,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,111,179	△2,721,304
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△53,215	△250,695
長期借入れによる収入	—	2,228,400
長期借入金の返済による支出	△114,944	△530,550
配当金の支払額	△281,110	△267,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	△449,269	1,179,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	△59,073	1,470
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△184,088	△213,933
現金及び現金同等物の期首残高	3,156,111	3,031,528
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,972,023	2,817,595

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,408,041	7,022,417	12,430,458	611	12,431,069
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,592	—	3,592	△3,592	—
計	5,411,633	7,022,417	12,434,051	△2,981	12,431,069
セグメント利益	525,903	322,453	848,357	△58,185	790,171

(注) 1 調整額の内容は、以下のとおりであります。

売上高

(単位:千円)

非連結子会社からの利息収入等	611
連結消去	△3,592
合計	△2,981

セグメント利益

(単位:千円)

全社費用(注)	△249,412
連結消去	191,226
合計	△58,185

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の営業費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,972,648	8,450,380	14,423,029	1,917	14,424,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,680	—	3,680	△3,680	—
計	5,976,328	8,450,380	14,426,709	△1,762	14,424,946
セグメント利益	500,649	325,035	825,684	△57,559	768,124

(注) 1 調整額の内容は、以下のとおりであります。

売上高

(単位:千円)

非連結子会社からの利息収入等	1,917
連結消去	△3,680
合計	△1,762

セグメント利益

(単位:千円)

全社費用(注)	△259,521
連結消去	201,961
合計	△57,559

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の営業費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来より、純粋持株会社である当社を報告セグメントの「日本」に含めていましたが、日本国内の事業会社である株式会社ダイオーズ ジャパンの業績を明確にするため、第1四半期連結会計期間より「調整額」の区分に変更することとしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。